

<校外学習、無事に行われました>

春の校外学習は、社会科の学習内容を深めるという学習のねらいに基づいて行われています。今年、「群馬県立歴史博物館」と「高崎観音山古墳」に行きました。

「群馬県立歴史博物館」では、火おこし体験とはにわ探検を行いました。

火おこし体験では、2通りの火おこしの体験を通して、昔の人たちが、火を大切にしていたことを学習しました。



はにわ探検では、博物館内に展示されている数多くのはにわについて、ワークシートを用いて学習しました。展示スペースに入ってすぐに子ども達を出迎えた大きなはにわに驚きの声が上がりました。



「高崎観音山古墳」では、豪族が葬られていた石室に入り。解説を聞きました。

群馬県内には、1万を超える数多くの古墳があります。観音山古墳の石室は、長い間崩れていたために、石室内にあった刀やかぶと等の豪族が使用していたであろう数々の品がそのまま掘り出されました。全国的に大変珍しいことです。歴史的価値の高い観音山古墳の石室天井部の巨大な6つの岩に驚きながら、解説に聞き入っていました。

